

14) 小児肝癌の DNA ploidy 解析

金田 聡・岩淵 眞
 内山 昌則・内藤 真一
 松田由紀夫・内藤万砂文
 八木 実・近藤 公男
 飯沼 泰史・大谷 哲士 (新潟大学小児外科)
 広田 雅行 (長岡赤十字病院)
 小児外科

【はじめに】種々の悪性腫瘍で DNA ploidy の有用性の報告は多いが、小児肝癌での報告は少ない。【目的】小児肝癌における DNA ploidy 測定の臨床的有用性についての検討。【対象】当科において経験した小児肝癌15例。【方法】パラフィンブロックを用い Hedley 法にて施行。【結果】1) ploidy 判定: DNA diploidy (DD) 11例, DNA aneuploidy (DA) 2例, DD と DA が並存する DNA heterogeneity (DH) 2例。2) 組織型と ploidy: 高分化型肝芽腫10例—DD 7例, DA 1例, DH 2例, 低分化型肝芽腫4例—DD 4例, 成人型肝癌1例—DA。また、肝非腫瘍部で DA を示すヒストグラムを認めた。3) 予後と ploidy: 生存例7例—DD 6例, DH 1例, 死亡例8例—DD 5例, DA 2例, DH 1例。これらの生存率に有意差は認めなかったが、DA 2例は1年以内に死亡しており、その悪性度の強さが示唆された。【考察】小児肝癌の生物学的特性を知る上で DNA ploidy 測定の有用性が示唆された。

15) 組織中 VIP が低値で WDHA 症候群を呈した悪性膵島細胞腫の1例

落合 亮・家里 裕
 吉田 崇・大矢 敏裕 (小千谷総合病院)
 谷口棟一郎・横森 忠紘 (外科)
 福田 剛明 (新潟大学第二病理)

WDHA 症候群は腫瘍組織中に vasoactive intestinal polypeptide (VIP) が高濃度で存在することが多いが、VIP 低濃度、pancreatic polypeptide (PP) 高濃度であった悪性膵島細胞腫による WDHA 症候群の1例を経験したので報告する。

症例は63歳の女性で、5カ月に及ぶ難治性水様便と低カリウム血症で当科を紹介された。腹部超音波検査及びCT 検査で脾門部に接して境界明瞭、内部不均一な 5.0×4.0 cm の腫瘍を認めたが、ERCP 検査で膵管の異常は認めなかった。

腹部腫瘍の診断で手術を施行した。手術所見で、膵尾部より脾外に突出した鳩卵大の腫瘍を認めた。術中迅速病理診断は膵島由来の悪性腫瘍で、膵体尾部脾切除郭清

術を施行した。腫瘍は 6.5×5.0×4.5 cm 大の黄茶色結節状で、被膜を有していた。

病理診断は悪性膵島細胞腫で、PP が高濃度に存在したが、VIP は低濃度であった。術後下痢は消失し、外来で経過観察となっている。

16) 胆道癌に対する温熱療法を中心とした集学的治療法の抗腫瘍効果に関する研究

曾我 憲二・高橋 澄雄
 相川 啓子・豊島 宗厚 (日本歯科大学)
 柴崎 浩一 (新潟歯学部内科)

【目的】胆道癌に対する温熱療法の抗腫瘍効果について検討した。

【方法と対象】方法は 13.56 MHz の radio の波誘電加温装置を用い、400~500 W ので40分間深部加温し、また、温熱療法施行中、ほとんどの症例に対して MMC、ADM などによる全身化学療法を同時併用し、一部の症例には、リピオドール動注を含む抗癌剤の one shot 動注療法や持続動注療法、放射線療法を施行した。対象は膵癌15例、胆管・胆嚢癌14例の計29例で、いずれも根治切除不可能と診断された症例である。

【結果】①膵癌15例中腫瘍の縮小を4例に認め、そのうち CR が1例、PR が3例であった。②胆管・胆嚢癌14例では腫瘍の縮小を2例に認め、そのうち CR が1例、PR が1例であった。

【結語】胆道癌の一部の症例に対して温熱療法は集学的治療法の一環として有効と考えられる。

17) OK-432 包埋リポソームによる肝細胞癌治療の試み

佐藤 祐一・市田 隆文
 武井 伸一・五十川 修
 渡辺 雅史・朝倉 均 (新潟大学第三内科)
 佐藤 万成 (同 医動物)
 加藤 仁 (同付属病院薬剤部)
 内田 克之・塚田 一博 (同 第一外科)

肝細胞癌の保存的治療には、PEIT、TAE 等があり、その一つとして chemo-lipiodolization もよく行われている。今回我々は、chemo-lipiodolization 時に免疫賦活剤である OK-432 を包埋リポソームの形で経カテーテル的に動注する治療を試みた。症例は69才の女性。14年前より自己免疫性肝炎で PSL 10 mg にて治療中に、S4 に $\phi 6 \times 7$ cm の肝細胞癌が出現した。治療として